

## 運用報告書(全体版)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2008年6月27日から、原則として無期限です。	
運用方針	高金利通貨マザーファンドの受益証券への投資を通じて、世界の通貨の中から相対的に金利の高い8通貨を選定し、主として当該現地通貨建ての短期債券等（国債、州債、政府機関債、政府保証債、国際機関債等）に分散投資することにより、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	高金利通貨マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	高金利通貨マザーファンド	外貨建ての短期債券等（国債、州債、政府機関債、政府保証債、国際機関債等）を主要投資対象とします。
投資制限	当ファンド	マザーファンドの受益証券への投資割合には制限を設けません。
	高金利通貨マザーファンド	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎月20日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として以下の方針に基づき、収益分配を行います。分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。繰越分を含めた配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。	

## プレミアム・カレンシー・オープン (毎月決算型) (愛称 金利の羅針盤)

第72期（決算日 2014年7月22日） 第75期（決算日 2014年10月20日）  
第73期（決算日 2014年8月20日） 第76期（決算日 2014年11月20日）  
第74期（決算日 2014年9月22日） 第77期（決算日 2014年12月22日）

### 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
皆様の「プレミアム・カレンシー・オープン（毎月決算型）（愛称 金利の羅針盤）」は、2014年12月22日に第77期決算を迎えましたので、過去6カ月間（第72期～第77期）の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

 **岡三アセットマネジメント**

〒104-0028 東京都中央区八重洲 2-8-1

お問い合わせは弊社カスタマーサービス部へ  
フリーダイヤル ☎0120-048-214（営業日の9:00～17:00）

[ホームページ]  
<http://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はおお客様のご負担となります。  
※機種により本サービスをご利用いただけない場合があります。



○最近30期の運用実績

決算期	基準価額			シティ世界国債インデックス （除く日本、ヘッジなし・円ベース）		G B I - E M (ガバメント・ ボンド・インデックス- エマージング・マーケット) ブロード・ディバースファイド指数 (円ベース)		債券 組入比率	債券 先物比率	純資 産総 額
	(分配落)	税込 分配	み 期騰 落	中 率	期騰 落	中 率	期騰 落			
	円	円	%	ポイント	%	ポイント	%	%	%	百万円
48期(2012年7月20日)	6,147	30	1.5	289.56	△0.3	171.024	2.6	84.2	—	321
49期(2012年8月20日)	6,185	30	1.1	291.88	0.8	172.285	0.7	85.5	—	320
50期(2012年9月20日)	6,147	30	△0.1	297.51	1.9	173.841	0.9	86.4	—	316
51期(2012年10月22日)	6,150	30	0.5	302.45	1.7	178.562	2.7	92.4	—	309
52期(2012年11月20日)	6,192	30	1.2	308.84	2.1	181.436	1.6	92.0	—	308
53期(2012年12月20日)	6,469	30	5.0	326.93	5.9	193.526	6.7	89.3	—	318
54期(2013年1月21日)	6,847	30	6.3	348.58	6.6	208.863	7.9	85.1	—	345
55期(2013年2月20日)	7,135	30	4.6	360.35	3.4	218.384	4.6	91.9	—	357
56期(2013年3月21日)	7,198	30	1.3	365.19	1.3	221.139	1.3	88.7	—	312
57期(2013年4月22日)	7,533	30	5.1	386.53	5.8	235.565	6.5	90.4	—	325
58期(2013年5月20日)	7,595	30	1.2	396.62	2.6	243.283	3.3	89.7	—	326
59期(2013年6月20日)	6,773	30	△10.4	368.12	△7.2	210.864	△13.3	90.7	—	291
60期(2013年7月22日)	7,095	30	5.2	383.31	4.1	220.520	4.6	89.0	—	301
61期(2013年8月20日)	6,744	30	△4.5	373.13	△2.7	205.857	△6.6	89.0	—	287
62期(2013年9月20日)	7,125	30	6.1	384.62	3.1	219.542	6.6	89.6	—	295
63期(2013年10月21日)	7,048	30	△0.7	383.40	△0.3	217.865	△0.8	89.5	—	294
64期(2013年11月20日)	7,025	30	0.1	391.65	2.2	216.705	△0.5	90.1	—	294
65期(2013年12月20日)	7,147	30	2.2	407.49	4.0	222.886	2.9	88.7	—	297
66期(2014年1月20日)	7,021	30	△1.3	408.89	0.3	221.607	△0.6	91.6	—	292
67期(2014年2月20日)	6,897	30	△1.3	407.62	△0.3	215.253	△2.9	86.7	—	282
68期(2014年3月20日)	6,947	30	1.2	408.49	0.2	217.254	0.9	86.0	—	282
69期(2014年4月21日)	7,097	30	2.6	414.30	1.4	224.907	3.5	93.8	—	286
70期(2014年5月20日)	7,056	30	△0.2	412.19	△0.5	227.457	1.1	92.6	—	275
71期(2014年6月20日)	7,046	30	0.3	415.31	0.8	229.992	1.1	91.6	—	269
72期(2014年7月22日)	7,026	30	0.1	415.98	0.2	230.674	0.3	93.3	—	265
73期(2014年8月20日)	7,024	30	0.4	421.97	1.4	232.560	0.8	91.3	—	265
74期(2014年9月22日)	7,153	30	2.3	437.89	3.8	241.537	3.9	90.2	—	266
75期(2014年10月20日)	6,913	30	△2.9	431.84	△1.4	235.350	△2.6	93.4	—	256
76期(2014年11月20日)	7,465	30	8.4	471.55	9.2	257.007	9.2	95.3	—	268
77期(2014年12月22日)	7,244	30	△2.6	479.05	1.6	249.639	△2.9	71.3	—	250

- (注) 1. 基準価額および分配金（税込み）は1万円当たり、基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。  
 2. シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている債券インデックスです。  
 3. G B I - E M (ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット) ブロード・ディバースファイド指数 (円ベース) は、J. P. Morgan Securities Inc. が公表している新興国の債券のパフォーマンスを表す指数です。同指数は、J. P. Morgan Securities Inc. が定める条件により選ばれた、政府または政府機関の発行する、新興国の現地通貨建ての債券で構成されている時価総額加重平均指数です。  
 4. シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）、およびG B I - E M (ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット) ブロード・ディバースファイド指数 (円ベース) は、当該日前営業日の現地終値です。両指数とも参考指数であり、当ファンドのベンチマークではありません。  
 5. 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。  
 6. 債券先物比率は買建比率-売建比率です。  
 7. 本運用報告書の作成期間に対応する決算期は第72期～第77期です。

○当作成期間中の基準価額と市況等の推移

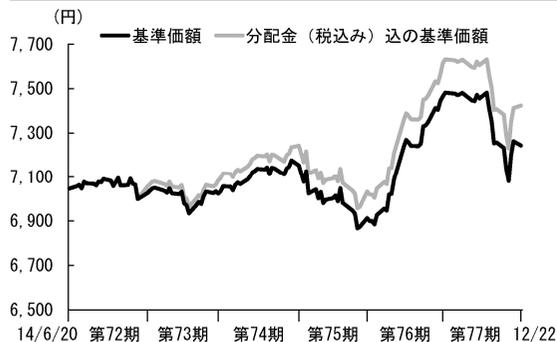
決算期	年 月 日	基準 価 額		シテイ世界国債 インデックス (除く日本、 ヘッジなし・円ベース)		GBI-EM (ガバメント・ ボンド・インデックス・ エマージング・マーケット) ブロード・デリバティブ・ ファンド (円ベース)		債 券 組入比率	債 券 先物比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	(参考指数)		
第72期	(期 首) 2014年6月20日	円	%	ポイント	%	ポイント	%	%	%
	6月末	7,046	—	415.31	—	229.992	—	91.6	—
	(期 末) 2014年7月22日	7,068	0.3	415.58	0.1	229.905	△0.0	92.7	—
第73期	(期 首) 2014年7月22日	7,026	—	415.98	—	230.674	—	93.3	—
	7月末	7,047	0.3	419.35	0.8	232.748	0.9	93.5	—
	(期 末) 2014年8月20日	7,054	0.4	421.97	1.4	232.560	0.8	91.3	—
第74期	(期 首) 2014年8月20日	7,024	—	421.97	—	232.560	—	91.3	—
	8月末	7,067	0.6	426.42	1.1	234.274	0.7	91.2	—
	(期 末) 2014年9月22日	7,183	2.3	437.89	3.8	241.537	3.9	90.2	—
第75期	(期 首) 2014年9月22日	7,153	—	437.89	—	241.537	—	90.2	—
	9月末	7,002	△2.1	438.14	0.1	237.332	△1.7	91.5	—
	(期 末) 2014年10月20日	6,943	△2.9	431.84	△1.4	235.350	△2.6	93.4	—
第76期	(期 首) 2014年10月20日	6,913	—	431.84	—	235.350	—	93.4	—
	10月末	7,089	2.5	438.30	1.5	242.166	2.9	93.9	—
	(期 末) 2014年11月20日	7,495	8.4	471.55	9.2	257.007	9.2	95.3	—
第77期	(期 首) 2014年11月20日	7,465	—	471.55	—	257.007	—	95.3	—
	11月末	7,481	0.2	475.71	0.9	259.984	1.2	95.3	—
	(期 末) 2014年12月22日	7,274	△2.6	479.05	1.6	249.639	△2.9	71.3	—

(注) 期末基準価額は1万円当たり分配金(税込み)込み、騰落率は期首比です。

## ◎基準価額の推移

基準価額は当期間、7,046円から7,244円へと上昇しました。なお、当期間において、合計で180円(税込み)の分配金をお支払い致しました。

基準価額の推移



(注) 基準価額は1万口当たりです。分配金(税込み)込の基準価額は、(分配落)に第72期以降の分配金(税込み)累計額を加算した価額です。

## ◎基準価額の変動要因

(主なプラス要因)

- ・ブラジル・リアルを除く、投資対象通貨が対円で上昇したことがプラスとなりました。
- ・ブラジル、南アフリカ、マレーシアを除く投資対象国の債券利回りが低下し、保有債券の価格が上昇したことが、プラスとなりました。ブラジル、南アフリカ、マレーシアについても、保有債券価格の下落を上回る利息収入を獲得できたことがプラスとなりました。

(主なマイナス要因)

- ・ブラジル・リアルが対円で下落したことが、マイナスとなりました。

## ◎投資環境(市況)

(債券市場)

原油等の資源価格の下落により、世界的に物価上昇圧力が弱まったことや、先進国の緩和的な金融政策により、先進国の債券利回りが低下したことから、オーストラリアやニュージーランドの債券利回りが低下しました。一方で、原油価格の下落による景気の悪化が懸念されたブラジルやマレーシアからは債券市場から資金が

流出し、債券利回りが上昇しました。

(為替市場)

日銀の追加金融緩和や年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)による海外投資比率の引き上げ、また日本の巨額の貿易赤字を背景に投資対象通貨が対円で上昇しました。ただ、ブラジル・リアルは、原油価格の下落による景気悪化への懸念や政局不安を背景に、対円で下落しました。

## ◎ポートフォリオについて

＜プレミアム・カレンシー・オープン（毎月決算型）（愛称 金利の羅針盤）＞

「高金利通貨マザーファンド」の受益証券の組入比率を高位で維持しました。

＜高金利通貨マザーファンド＞

(債券組入比率)

当期間を通じて、高位の組入れを維持しました。

(通貨別投資比率)

ブラジル、メキシコ、南アフリカ、マレーシア、ポーランド、トルコ、オーストラリア、ニュージーランドの8カ国の通貨を選定し、相場動向に対応して、それぞれの投資比率を変化させることで、為替変動リスクのコントロールを図りました。当期間はニュージーランド・ドルの比率を比較的高位としました。

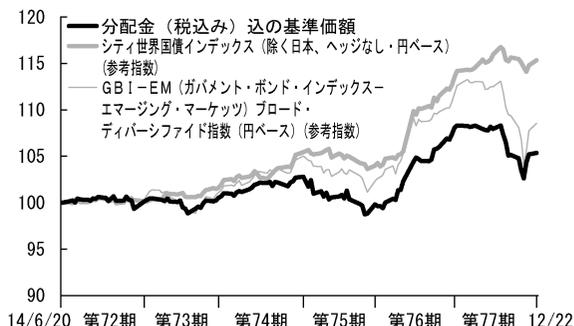
(国別投資比率および年限別投資配分)

ブラジル、メキシコ、南アフリカ、マレーシア、ポーランド、トルコ、オーストラリア、ニュージーランドの国債に投資しました。当期間におきましては、ニュージーランド国債の比率を比較的高位としました。また、概ね1年以内の年限の債券へ投資を行いました。

## ◎当該投資信託の参考指数との差異

当期間における当ファンドの騰落率は、参考指数としているシティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）、GBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット）ブロード・ディバースファイド指数（円ベース）のいずれに対しても、下回りました。当期間で比較的高い上昇率となった米ドルやインドネシア・ルピアを保有していなかったことがマイナスに寄与しました。また、参考指数に比べて短い年限の債券を保有していたことが金利獲得面でマイナスに寄与しました。

## 基準価額と参考指数の推移



- (注) 1. 分配金（税込み）込の基準価額は作成期首、シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）（参考指数）、GBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット）ブロード・ディバースファイド指数（円ベース）（参考指数）は現地営業日の終値を100として指数化しております。  
2. 分配金（税込み）込の基準価額は、基準価額（分配前）に第72期以降の分配金（税込み）累計額を加算しております。

## ◎分配金

分配対象収益は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額としております。当期間におきましては、第72期から第77期の各決算期に、それぞれ1万

口当たり30円（税込み）、合計180円の収益分配を行いました。なお、留保益の運用につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

## （分配原資の内訳）

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期
	2014年6月21日～ 2014年7月22日	2014年7月23日～ 2014年8月20日	2014年8月21日～ 2014年9月22日	2014年9月23日～ 2014年10月20日	2014年10月21日～ 2014年11月20日	2014年11月21日～ 2014年12月22日
当期分配金	30	30	30	30	30	30
（対基準価額比率）	0.425%	0.425%	0.418%	0.432%	0.400%	0.412%
当期の収益	30	24	30	22	30	28
当期の収益以外	—	5	—	7	—	1
翌期繰越分配対象額	572	566	568	561	565	564

- (注) 1. 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。  
2. 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ◎今後の運用方針

（投資環境の見通し）

債券市場につきましては、原油価格の下落が景気にプラスに働きやすいトルコの債券利回りが低下する一方で、原油の純輸出国であるマレーシアの債券利回りが上昇するなど、国によって利回りの方向性が異なる展開が想定されます。

為替市場につきましては、GPIFによる海外資産の拡大や日銀による強力な金融緩和、さらには日本の巨額な貿易赤字を背景に、投資対象通貨が対円で概ね堅調に推移すると予想しています。中でも、原油価格下落の恩恵を受けやすいトルコ・リラの上昇が比較的顕著になると予想します。

（運用方針）

<プレミアム・カレンシー・オープン（毎月決算型）（愛称 金利の羅針盤）>

主要な投資対象である「高金利通貨マザーファンド」の受益証券の組入れを高位に維持して運用する方針です。

<高金利通貨マザーファンド>

世界の通貨の中から、対象国の金利水準のほか、格付け、為替市場や債券市場の見通し、市場流動性等を総合的に判断し、8カ国の通貨を選定して、投資を行う方針です。また、債券投資については、概ね1年以内の年限の債券に投資する方針です。当面は、外貨比率を高位に保ちつつ、トルコ・リラの比率を徐々に高める方針です。

○ 1万口当たりの費用明細

（2014年6月21日～2014年12月22日）

項 目	第72期～第77期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	36	0.509	(a) 信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(17)	(0.246)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(17)	(0.241)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 2)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	10	0.144	(b) その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 9)	(0.129)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 0)	(0.007)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	( 1)	(0.008)	その他は、金融商品取引を行う為の識別番号取得費用です。
合 計	46	0.653	
作成期間中の平均基準価額は、7,125円です。			

- (注) 1. 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。  
 2. 各金額において基準価額は円未満切り捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。  
 3. その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。  
 4. 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

（2014年6月21日～2014年12月22日）

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第72期～第77期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
高金利通貨マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 32,648	千円 34,500

（注）口数・金額の単位未満は切り捨てです。

## ○利害関係人との取引状況等

（2014年6月21日～2014年12月22日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

（2014年12月22日現在）

### 親投資信託残高

銘柄	第71期末	第77期末	
	口 数	口 数	評 価 額
高金利通貨マザーファンド	千口 262,980	千口 230,332	千円 248,850

（注）口数・評価額の単位未満は切り捨てです。

## ○投資信託財産の構成

（2014年12月22日現在）

項 目	第77期末	
	評 価 額	比 率
高金利通貨マザーファンド	千円 248,850	% 98.8
コール・ローン等、その他	2,975	1.2
投資信託財産総額	251,825	100.0

（注）1. 評価額の単位未満は切り捨てです。

2. 高金利通貨マザーファンドにおいて、第77期末における外貨建純資産（240,676千円）の投資信託財産総額（250,239千円）に対する比率は96.2%です。

3. 高金利通貨マザーファンドにおける外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信買相場場の仲値により邦貨換算したものです。なお、第77期末における邦貨換算レートは1メキシコペソ=8.18円、1ブラジルレアル=44.90円、1トルコリラ=51.61円、1ポーランドズロチ=34.32円、1オーストラリアドル=97.28円、1ニュージーランドドル=92.22円、1マレーシアリンギット=34.34円、1南アフリカランド=10.33円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第72期末	第73期末	第74期末	第75期末	第76期末	第77期末
	2014年7月22日現在	2014年8月20日現在	2014年9月22日現在	2014年10月20日現在	2014年11月20日現在	2014年12月22日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	268,731,652	266,348,273	271,247,484	258,291,763	270,187,016	251,825,010
コール・ローン等	4,164,247	2,621,009	5,975,221	2,425,122	3,072,738	2,974,292
高金利通貨マザーファンド(評価額)	264,567,402	263,727,262	265,272,259	255,866,640	267,114,278	248,850,718
未収利息	3	2	4	1	—	—
(B) 負債	2,892,565	1,345,822	4,854,044	1,318,326	1,677,338	1,380,777
未払収益分配金	1,135,110	1,131,900	1,117,230	1,115,100	1,079,100	1,037,250
未払解約金	1,517,470	—	3,490,482	—	370,760	108,795
未払信託報酬	236,941	211,205	243,205	200,645	224,588	231,752
その他未払費用	3,044	2,717	3,127	2,581	2,890	2,980
(C) 純資産総額(A－B)	265,839,087	265,002,451	266,393,440	256,973,437	268,509,678	250,444,233
元本	378,370,000	377,300,000	372,410,000	371,700,000	359,700,000	345,750,000
次期繰越損益金	△112,530,913	△112,297,549	△106,016,560	△114,726,563	△91,190,322	△95,305,767
(D) 受益権総口数	378,370,000口	377,300,000口	372,410,000口	371,700,000口	359,700,000口	345,750,000口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,026円	7,024円	7,153円	6,913円	7,465円	7,244円

(注) 1. 運用報告書作成時点では、監査未了です。

2. 計算期間末における1口当たり純資産額は第72期0.7026円、第73期0.7024円、第74期0.7153円、第75期0.6913円、第76期0.7465円、第77期0.7244円です。

3. 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は第72期112,530,913円、第73期112,297,549円、第74期106,016,560円、第75期114,726,563円、第76期91,190,322円、第77期95,305,767円です。

4. 当ファンドの第72期首元本額は382,320,000円、第72～77期中追加設定元本額は0円、第72～77期中一部解約元本額は36,570,000円です。

## ○損益の状況

項 目	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期
	2014年6月21日～ 2014年7月22日	2014年7月23日～ 2014年8月20日	2014年8月21日～ 2014年9月22日	2014年9月23日～ 2014年10月20日	2014年10月21日～ 2014年11月20日	2014年11月21日～ 2014年12月22日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	42	31	36	25	11	12
受取利息	42	31	36	25	11	12
(B) 有価証券売買損益	601,944	1,259,852	6,185,310	△ 7,594,533	21,131,629	△ 6,394,030
売買益	611,731	1,259,846	6,244,997	10,924	21,547,276	361,641
売買損	△ 9,787	6	△ 59,687	△ 7,605,457	△ 415,647	△ 6,755,671
(C) 信託報酬等	△ 239,985	△ 213,922	△ 246,332	△ 203,226	△ 227,478	△ 234,732
(D) 当期繰越損益金 (A + B + C)	362,001	1,045,961	5,939,014	△ 7,797,734	20,904,162	△ 6,628,750
(E) 前期繰越損益金	△ 72,808,098	△ 73,372,052	△ 72,502,168	△ 67,550,641	△ 73,987,545	△ 52,047,901
(F) 追加信託差損益金	△ 38,949,706	△ 38,839,558	△ 38,336,176	△ 38,263,088	△ 37,027,839	△ 35,591,866
(配当等相当額)	( 4,939,475)	( 4,925,506)	( 4,861,669)	( 4,852,400)	( 4,695,750)	( 4,513,645)
(売買損益相当額)	(△ 43,889,181)	(△ 43,765,064)	(△ 43,197,845)	(△ 43,115,488)	(△ 41,723,589)	(△ 40,105,511)
(G) 計 (D + E + F)	△ 111,395,803	△ 111,165,649	△ 104,899,330	△ 113,611,463	△ 90,111,222	△ 94,268,517
(H) 収益分配金	△ 1,135,110	△ 1,131,900	△ 1,117,230	△ 1,115,100	△ 1,079,100	△ 1,037,250
次期繰越損益金 (G + H)	△ 112,530,913	△ 112,297,549	△ 106,016,560	△ 114,726,563	△ 91,190,322	△ 95,305,767
追加信託差損益金	△ 38,949,706	△ 38,839,558	△ 38,336,176	△ 38,263,088	△ 37,027,839	△ 35,591,866
(配当等相当額)	( 4,939,475)	( 4,925,506)	( 4,861,669)	( 4,852,400)	( 4,695,750)	( 4,513,645)
(売買損益相当額)	(△ 43,889,181)	(△ 43,765,064)	(△ 43,197,845)	(△ 43,115,488)	(△ 41,723,589)	(△ 40,105,511)
分配準備積立金	16,729,137	16,462,916	16,322,157	16,002,348	15,640,598	14,999,067
繰越損益金	△ 90,310,344	△ 89,920,907	△ 84,002,541	△ 92,465,823	△ 69,803,081	△ 74,712,968

(注) 1. 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価替えによるものを含みます。(C)信託報酬等は消費税等相当額、監査費用を含めて表示しております。(F)追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

### 2. 収益分配金

決算期	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期
(a) 配当等収益（費用控除後）	2,736,181円	911,918円	1,186,072円	825,699円	1,226,495円	988,164円
(b) 有価証券等損益額（費用控除後、繰越欠損金補填後）	0円	0円	0円	0円	0円	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	4,939,475円	4,925,506円	4,861,669円	4,852,400円	4,695,750円	4,513,645円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	15,128,066円	16,682,898円	16,253,315円	16,291,749円	15,493,203円	15,048,153円
分配対象収益 ( a+b+c+d )	22,803,722円	22,520,322円	22,301,056円	21,969,848円	21,415,448円	20,549,962円
分配対象収益（1万円当たり）	602円	596円	598円	591円	595円	594円
分配金額	1,135,110円	1,131,900円	1,117,230円	1,115,100円	1,079,100円	1,037,250円
分配金額（1万円当たり）	30円	30円	30円	30円	30円	30円

**用語解説**

○資産、負債、元本および基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本および基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項 目	説 明
<b>資産</b>	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等（評価額）	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未収配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未収利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
<b>負債</b>	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
<b>純資産総額（資産－負債）</b>	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額（翌期に繰り越す損益金の合計額）です。
<b>受益権総口数</b>	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

**用語解説**

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項 目	説 明
<b>配当等収益</b>	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
<b>有価証券売買損益</b>	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
<b>信託報酬等</b>	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それらに掛かる消費税等相当額です。
<b>当期損益金</b>	当期における収支合計です。
<b>前期繰越損益金</b>	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
<b>追加信託差損益金</b>	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
（配当等相当額）	配当等に相当する額です。
（売買損益相当額）	売買損益に相当する額です。
<b>計</b>	収益分配前の期中の収支の総合計です。
<b>収益分配金</b>	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
<b>次期繰越損益金</b>	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
（配当等相当額）	配当等に相当する額です。
（売買損益相当額）	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

## ○分配金のお知らせ

	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期
1 万口当たり分配金（税込み）	30円	30円	30円	30円	30円	30円
支払開始日	各決算日から起算して5営業日までの間に支払いを開始します。					
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本支店					

### 〈約款変更のお知らせ〉

法令諸規則の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。（実施日：2014年12月1日）

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2014年12月22日現在）

<高金利通貨マザーファンド>

下記は、高金利通貨マザーファンド全体(231,620千口)の内容です。

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	第77期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
メキシコ	千メキシコペソ 2,000	千メキシコペソ 2,028	千円 16,591	% 6.6	% —	% —	% —	% 6.6
ブラジル	千ブラジルリアル 800	千ブラジルリアル 836	37,554	15.0	—	—	—	15.0
トルコ	千トルコリラ 400	千トルコリラ 402	20,749	8.3	—	—	—	8.3
ポーランド	千ポーランドズロチ 300	千ポーランドズロチ 303	10,431	4.2	—	—	—	4.2
オーストラリア	千オーストラリアドル 300	千オーストラリアドル 303	29,519	11.8	—	—	—	11.8
ニュージーランド	千ニュージーランドドル 400	千ニュージーランドドル 402	37,161	14.9	—	—	—	14.9
マレーシア	千マレーシアリンギット 800	千マレーシアリンギット 801	27,529	11.0	—	—	—	11.0
合 計	—	—	179,537	71.7	—	—	—	71.7

- (注) 1. 邦貨換算金額は、第77期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。  
 2. 組入比率は、第77期末のマザーファンドの純資産総額に対する評価額の比率です。  
 3. 額面金額、評価額の単位未満は切り捨てです。  
 4. BB格以下組入比率は、S&PとMoody'sの信用格付けのうち、高い方を採用しています。  
 5. 一印は組み入れがありません。

プレミアム・カレンシー・オープン（毎月決算型）（愛称 金利の羅針盤）

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	第77期末				
	利率	額面金額	評価額		償還年月日
			外貨建金額	邦貨換算金額	
メキシコ	%	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円	
国債証券 MEXICAN BONOS 6	6.0	2,000	2,028	16,591	2015/6/18
小計				16,591	
ブラジル		千ブラジルレアル	千ブラジルレアル		
国債証券 BRAZIL NTN-F 10	10.0	800	836	37,554	2015/1/1
小計				37,554	
トルコ		千トルコリラ	千トルコリラ		
国債証券 TURKEY GOVT BOND 10	10.0	400	402	20,749	2015/6/17
小計				20,749	
ポーランド		千ポーランドズロチ	千ポーランドズロチ		
国債証券 POLAND GOVT BOND 5.5	5.5	300	303	10,431	2015/4/25
小計				10,431	
オーストラリア		千オーストラリアドル	千オーストラリアドル		
国債証券 AUSTRALIAN GOVT. 6.25	6.25	300	303	29,519	2015/4/15
小計				29,519	
ニュージーランド		千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル		
国債証券 NEW ZEALAND GVT 6	6.0	400	402	37,161	2015/4/15
小計				37,161	
マレーシア		千マレーシアリンギット	千マレーシアリンギット		
国債証券 MALAYSIA GOVT 3.835	3.835	800	801	27,529	2015/8/12
小計				27,529	
合計				179,537	

(注) 1. 邦貨換算金額は、第77期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。  
2. 額面金額・評価額の単位未満は切り捨てです。

## 高金利通貨マザーファンド

### 第6期 運用状況のご報告

決算日：平成26年6月20日

「高金利通貨マザーファンド」は、平成26年6月20日に第6期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	外貨建ての短期債券等（国債、州債、政府機関債、政府保証債、国際機関債等）を主要投資対象とし、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外貨建ての短期債券等（国債、州債、政府機関債、政府保証債、国際機関債等）を主要投資対象とします。
投資制限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

#### ◎最近5期の運用実績

決算期	基準価額		シティ世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)		GBI-EM (ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット) ブロード・ディバースィファイド指数 (円ベース)		債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
	円	%	(参考指数)	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率			
第2期 平成22.6.21	8,112	3.3	ポイント	%	ポイント	%	%	%	百万円
第3期 平成23.6.20	8,464	4.3	296.37	△ 5.8	169.593	8.4	90.0	-	953
第4期 平成24.6.20	7,759	△ 8.3	289.25	△ 2.4	172.187	1.5	88.2	-	573
第5期 平成25.6.20	9,214	18.8	290.34	0.4	166.713	△ 3.2	86.4	-	333
第6期 平成26.6.20	10,193	10.6	368.12	26.8	210.864	26.5	91.3	-	296
			415.31	12.8	229.992	9.1	92.1	-	269

(注) 1.基準価額は1万円当たりです。

2.シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている債券インデックスです。

3.GBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット）ブロード・ディバースィファイド指数（円ベース）は、J.P.Morgan Securities Inc.が公表している新興国の債券のパフォーマンスを表す指数です。同指数は、J.P.Morgan Securities Inc.が定める条件により選ばれた、政府または政府機関の発行する、新興国の現地通貨建ての債券で構成されている時価総額加重平均指数です。

4.シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）およびGBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット）ブロード・ディバースィファイド指数（円ベース）は、当該日前営業日の現地終値です。両指数とも参考指数であり、当ファンドのベンチマークではありません。

5.債券先物比率は買建比率-売建比率です。

## ◎当期中の基準価額と市況の推移

年月日	基準価額		シティ世界国債 インデックス (除く日本、 ヘッジなし・円ベース)		GBI-EM (ガバメント・ ボンド・インデックス- エマージング・マーケット) ブロード・ディバース ファイド指数 (円ベース)		債券組入 比率	債券先物 比率
	円	騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率		
(期首) 平成25年 6月20日	9,214	—	ポイント 368.12	% —	ポイント 210.864	% —	% 91.3	% —
6月 末	9,446	2.5	371.45	0.9	213.546	1.3	91.5	—
7月 末	9,449	2.6	374.60	1.8	211.929	0.5	89.1	—
8月 末	9,219	0.1	373.41	1.4	202.608	△3.9	92.5	—
9月 末	9,472	2.8	381.26	3.6	211.601	0.3	88.4	—
10月 末	9,745	5.8	387.51	5.3	218.585	3.7	88.5	—
11月 末	9,877	7.2	400.82	8.9	218.777	3.8	90.8	—
12月 末	10,108	9.7	410.48	11.5	224.274	6.4	89.2	—
平成26年 1月 末	9,664	4.9	404.63	9.9	212.560	0.8	85.3	—
2月 末	9,858	7.0	407.86	10.8	216.006	2.4	87.5	—
3月 末	10,141	10.1	413.39	12.3	223.507	6.0	88.3	—
4月 末	10,150	10.2	415.47	12.9	225.064	6.7	92.9	—
5月 末	10,147	10.1	413.82	12.4	229.257	8.7	94.6	—
(期末) 平成26年 6月20日	10,193	10.6	415.31	12.8	229.992	9.1	92.1	—

(注) 騰落率は期首比です。

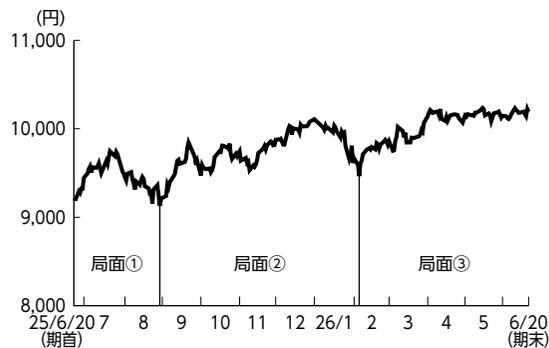
## 第6期（平成25年6月21日～平成26年6月20日）

## 基準価額の変動要因

## 1. 基準価額の推移

基準価額は、前期末の9,214円から当期末には10,193円となり、値上がり額は979円となりました。

## 基準価額の推移



(注) 基準価額は1万円当たりです。

## 【市況要因】

## 局面①【期首～平成25年8月28日】

## 円安後円高、債券相場は概ね利回りが上昇

1. 米雇用統計の好内容を受けて、ドルの対円での上昇とともに投資対象通貨は上昇する場面が見られました。しかし平成25年7月下旬以降は、世界的に債券利回りが急上昇する中、新興国を中心に投資資金が流出する動きが強まったことから、投資対象通貨が対円で反落しました。
2. 投資対象国の短期国債市場は、米連邦準備制度理事会（FRB）の資産購入が縮小されるとの観測を背景に、米金利が上昇した影響から、新興国を中心に債券市場から資金を引き上げる動きが強まり、全般的に利回りが上昇する展開となりました。ただ、オーストラリアについては、中央銀行が0.25%の利下げを実施したことから、利回りが低下しました。

※この間、基準価額は、0.9%の下落となりました。

## 局面②【平成25年8月29日～平成26年2月4日】

## 円安基調の後円高、債券相場は国によりまちまち

1. オリンピックの東京開催が決定し、日本株が上昇した影響や、FRBが量的緩和第3弾（QE3）の縮小を見送ったことを受けて、投資家のリスク志向が強まり、投資対象通貨が対円で堅調に推移しました。その後も、12月中旬に行われた米連邦公開市場委員会（FOMC）において、FRBがQE3の縮小を決定する一方で、長期にわたり低金利政策を継続するとの方針を示したことから、株価が大きく上昇し、投資対象通貨は対円で一段高となりました。しかし、年明け後は、中国の景気減速懸念やアルゼンチンペソの急落など新興国市場の懸念を背景に、世界的な株安とともに投資家のリスク回避姿勢が強まり、投資対象通貨が対円で軟調に推移しました。
  2. 投資対象国の短期国債市場は、平成25年内は国によりまちまちの動きとなりました。ブラジルについては、中央銀行が当期間中に3度の利上げを実施したことを受けて、利回りが上昇しました。一方、メキシコは、政策金利が2度引き下げられた影響から、利回りが低下しました。年明け後は、新興国の債券市場から投資資金を引き上げる動きが強まったことや、通貨安によるインフレ抑制に向けて南アフリカなどで大幅な利上げが実施されたことを受けて、全般的に利回りが上昇する展開となりました。一方で、オーストラリアやニュージーランドについては、質への逃避の動きから、利回りが低下しました。
- ※この間、基準価額は、3.7%の上昇となりました。

## 局面③【平成26年2月5日～期末】

## 円安基調、債券相場は全般的に利回り低下

1. 新興国の通貨安が一服したことや、米国の景気回復期待を背景に、米国株が上昇したことを受けて、投資家のリスク志向が強まり、4月上旬にかけて投資対象通貨が対円で上昇しました。中でも、利上げが実施されたニュージーランドドルが対円で大きく上昇しました。その後は、ドルが対円で方向感なく推移する中、投資対象通貨も全般的にもみ合う動きとなりました。

2.投資対象国の短期国債市場は、新興国からの資金流出の動きが一服したことから、全般的に利回りが低下に向かいました。また、米金利が低下基調を辿ったことも、投資対象国の利回り低下を促しました。中でも、トルコについては、3月30日に実施された地方選挙において、エルドアン首相が率いる公正発展党が勝利し、政局不安が後退した影響から、利回りが大きく低下しました。

※この間、基準価額は、7.7%の上昇となりました。

## 2.参考指数との比較

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、参考指数としているシティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）の12.8%の上昇、GB I - EM（ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット）ブロード・ディバースファイド指数（円ベース）の9.1%の上昇に対し、当ファンドの基準価額は、10.6%の上昇となりました。

### （主なプラス要因）

主なプラス要因は以下の通りです。

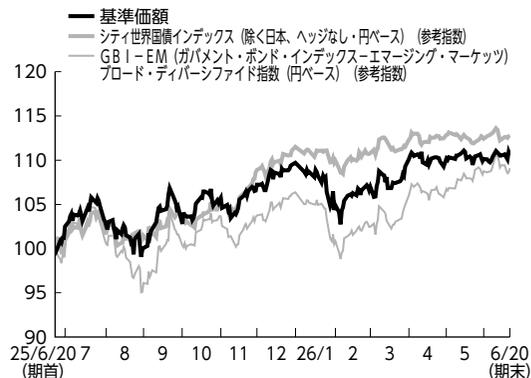
- ①トルコリラを除く投資対象通貨が対円で上昇したことがプラスに寄与しました。
- ②メキシコ国債、ポーランド国債の利回りが低下し、保有債券の価格が上昇したことがプラスに寄与しました。また、ブラジル国債についても、債券利回りが上昇し、保有債券の価格が下落したものの、価格の下落を上回る利息収入を獲得できたことがプラスに寄与しました。

### （主なマイナス要因）

主なマイナス要因は以下の通りです。

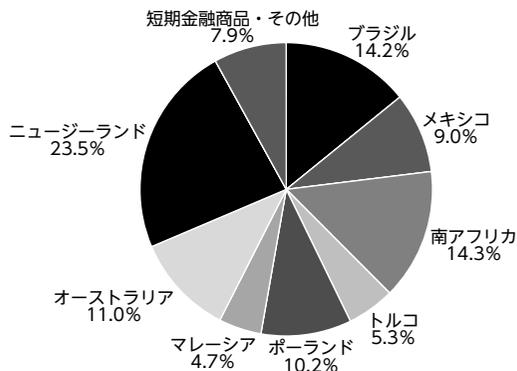
- ・トルコリラが対円で下落したことがマイナスに寄与しました。

## 基準価額と参考指数の推移

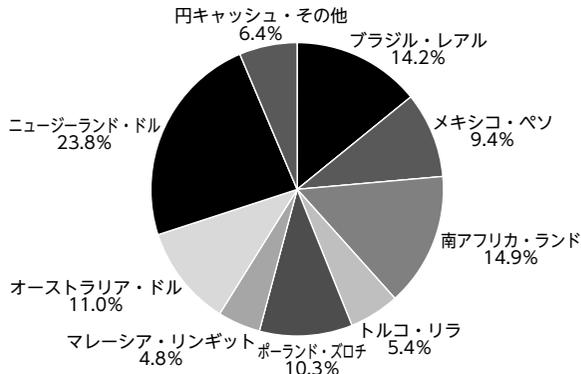


(注) 基準価額は期首を100、シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）（参考指数）、GB I - EM（ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット）ブロード・ディバースファイド指数（円ベース）（参考指数）は期首前営業日の現地終値を100として指数化しております。

発行国別構成比率



通貨別構成比率



(注) 1.構成比率は、当期末の当ファンドの純資産総額に対する比率です。  
 小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合があります。  
 2.通貨別構成比率には、為替ヘッジが含まれます。

### 投資対象国の債券利回り (%)

発行国	前期末	当期末	前期末比 騰落幅
	H25.6.20	H26.6.20	
ブラジル	9.11	11.05	1.94
メキシコ	3.86	3.05	△0.81
南アフリカ	5.99	7.03	1.04
トルコ	6.81	8.42	1.61
ポーランド	2.80	2.58	△0.22
マレーシア	3.00	3.16	0.16
オーストラリア	2.50	2.44	△0.06
ニュージーランド	3.78	4.42	0.64

※メキシコについては6ヵ月物国債、南アフリカについては銀行間貸出金利12ヵ月物、トルコ及びポーランドについては2年物国債、ニュージーランドについては10年物国債、その他は1年国債の利回りです。  
 当ファンドが実際に投資している債券の利回りとは異なります。なお、各利回りとも該当日の前営業日のデータを使用しています。

### 運用経過

#### 【債券組入比率】

当期の債券組入比率は、73.5%から95.1%の範囲となりました。当期中の平均債券組入比率は89.6%、期末の債券組入比率は92.1%となっております。

### 為替レートの状況 (対円)

通貨名	前期末	当期末	前期末比 騰落率
	H25.6.20	H26.6.20	
ブラジル・レアル	43.35	45.86	5.8%
メキシコ・ペソ	7.31	7.82	7.0%
南アフリカ・ランド	9.47	9.48	0.1%
トルコ・リラ	50.58	47.55	△ 6.0%
ポーランド・ズロチ	29.87	33.45	12.0%
マレーシア・リンギット	30.14	31.63	4.9%
オーストラリア・ドル	89.71	95.85	6.8%
ニュージーランド・ドル	75.96	88.77	16.9%

(注) 為替レートは対顧客電信売買相場の当日（東京）の仲値です。

#### 【当期の運用状況】

当期につきましては、世界の通貨の中から、対象国の金利水準のほか、格付け、為替市場や債券市場の見通し、市場流動性等を総合的に勘案し、ブラジル、メキシコ、南アフリカ、マレーシア、ポーランド、トルコ、オーストラリア、ニュージーランドの8カ国の通貨を選定し、投資を行いました。為替については、それぞれの通貨に分散投資を行い、相場動向に対応して投資比率を変化させることで、

為替変動リスクのコントロールを図りました。債券については、高金利通貨マザーファンドのポートフォリオ全体のデュレーション\*を、原則として1年程度以内とする基本方針のもと、0.40年から0.66年の範囲で推移させました。当期末のデュレーションは、0.56年となっております。

※デュレーション：金利変動に伴う債券価格の変動性を示す指標として用いられ、一般的にこの値が大きい程、金利変動に伴う債券価格の変動リスクが大きくなります。また、対象債券のクーポンが同じであれば、残存期間が長いほどデュレーションは長くなります。デュレーションは保有債券の平均残存年数とは異なり、利付債券の場合、平均残存年数よりも短く表記されます。

#### 【為替ヘッジ】

当期中には、為替ヘッジを行いませんでした。

## 今後の運用方針

### 【投資環境の見通し】

投資対象国の短期債券市場は、ニュージーランドでは景気拡大の進展から、追加利上げが見込まれる一方で、景気回復力の弱いポーランドでは緩和的な金融政策の継続が見込まれるなど、国により景気動向や金融政策の方向性が異なるため、利回りの動きも違いが生じやすい展開が想定されます。

為替市場については、米国経済が回復基調を辿っているものの、FRBが緩和的な金融政策を長期化するとの観測から、ドルの対円での膠着した動きが続くと思われ、投資対象通貨も対円で方向感の出にくい展開が想定されます。しかし、中長期的には、各国の経済状況や金融政策動向を反映した動きに回帰すると思われ、投資対象通貨の中では、景気拡大が進展するニュージーランドドルが比較的堅調に推移する可能性が高いと予想しています。

### 【運用方針】

世界の通貨の中から、対象国の金利水準のほか、格付け、為替市場や債券市場の見通し、市場流動性等を総合的に判断し、8カ国の通貨を選定して、投資を行う方針です。ま

た、債券への投資比率を高位で維持し、利息収入の確保を図るとともに、投資対象通貨の対円での下落リスクが高いと判断した場合には、投資比率の調整や為替ヘッジを行うなど機動的な対応を図る方針です。

## ◎1万口（元本10,000円）当たりの費用の明細

項目	当期
(a) 保管費用等	21円
合計	21円

(注) 1.費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a)保管費用等は、期中の金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

2.各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

3.単位未満は0と表示しています。

## ◎売買状況

## ○公社債

決算期		第6期（平成25年6月21日～平成26年6月20日）	
		買付額	売付額
外国	メキシコ	千メキシコペソ 4,210	千メキシコペソ 5,120 (4,000)
	ブラジル	千ブラジルレアル 797	千ブラジルレアル — (1,000)
	トルコ	千トルコリラ 296	千トルコリラ — ( 300)
	ポーランド	千ポーランドズロチ 1,433	千ポーランドズロチ 606 (1,200)
	オーストラリア	千オーストラリアドル 412	千オーストラリアドル 202 ( 200)
	ニュージーランド	千ニュージーランドドル 520	千ニュージーランドドル —
	マレーシア	千マレーシアリングgit 401	千マレーシアリングgit 506 ( 500)
	南アフリカ	千南アフリカランド 4,108	千南アフリカランド 2,009 (2,000)

(注) 1.金額は受渡代金です。（経過利子分は含まれておりません。）

2.単位未満は切り捨てです。

3.（ ）内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

## ◎主要な売買銘柄

○公社債

第6期（平成25年6月21日～平成26年6月20日）			
買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
NEW ZEALAND GOVT 6% 15/4/15	42,204	MEXICAN FIXED RATE BONDS 8% 13/12/19	22,796
REP SOUTH AFRICA 8.75% 14/12/21	38,299	REP SOUTH AFRICA 7.5% 14/1/15	19,773
POLAND GOVT 5.5% 15/4/25	34,686	AUSTRALIAN GOVT 6.25% 14/6/15	18,413
BRAZIL GOVT 10% 15/1/1	34,053	MEXICAN FIXED RATE BONDS 9.5% 14/12/18	16,119
MEXICAN FIXED RATE BONDS 9.5% 14/12/18	33,683	MALAYSIAN GOVT 8% 13/10/30	15,303
AUSTRALIAN GOVT 6.25% 15/4/15	29,622	POLAND GOVT 5.75% 14/4/25	13,617
TURKEY GOVT 7.5% 14/9/24	14,518	POLAND GOVT 5.5% 15/4/25	6,866
POLAND GOVT 5.75% 14/4/25	13,140		
MALAYSIAN GOVT 3.434% 14/8/15	12,721		
AUSTRALIAN GOVT 6.25% 14/6/15	9,146		

(注) 金額は受渡代金です。(経過利子分は含まれておりません。)

## ◎利害関係人との取引状況等

○期中の利害関係人との取引状況

決算期	第6期（平成25年6月21日～平成26年6月20日）					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	262	—	—	112	—	—
為替直物取引	103	—	—	156	—	—

(注) 公社債には現先などによるものを含みません。

○売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

該当事項はありません。

## ◎組入有価証券明細表

○外国（外貨建）公社債

①種類別開示

決算期	当期末（平成26年6月20日現在）							
	区分	額面金額	評価額		組入比率	内B B格 以下組入比率	残存期間別組入比率	
外貨建金額			邦貨換算金額	5年以上			2年以上	2年未満
メキシコ	千メキシコペソ 3,000	千メキシコペソ 3,093	千円 24,190	% 9.0	% -	% -	% -	% 9.0
ブラジル	千ブラジルレアル 800	千ブラジルレアル 832	千円 38,155	14.2	-	-	-	14.2
トルコ	千トルコリラ 300	千トルコリラ 298	千円 14,216	5.3	-	-	-	5.3
ポーランド	千ポーランドズロチ 800	千ポーランドズロチ 820	千円 27,449	10.2	-	-	-	10.2
オーストラリア	千オーストラリアドル 300	千オーストラリアドル 309	千円 29,621	11.0	-	-	-	11.0
ニュージーランド	千ニュージーランドドル 700	千ニュージーランドドル 713	千円 63,330	23.5	-	-	-	23.5
マレーシア	千マレーシアリングギット 400	千マレーシアリングギット 400	千円 12,659	4.7	-	-	-	4.7
南アフリカ	千南アフリカランド 4,000	千南アフリカランド 4,052	千円 38,419	14.3	-	-	-	14.3
合計	-	-	千円 248,043	92.1	-	-	-	92.1

(注) 1. 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

2. 組入比率は、当期末のファンドの純資産総額に対する評価額の比率です。

3. 額面金額、評価額の単位未満は切り捨てです。

4. B B格以下組入比率は、S & PとMoody'sの信用格付けのうち、高い方を採用しています。

5. -印は組み入れがありません。

高金利通貨マザーファンド

②銘柄別開示

決算期		当期末 (平成26年6月20日現在)							
通貨名	銘柄	種類	利率	額面金額	評価額		償還年月日	S & P	Moody's
					外貨建金額	邦貨換算金額			
メキシコペソ	メキシコ	国債証券	%	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円		A	A3
	MEXICAN FIXED RATE BONDS								
小計					24,190				
ブラジルレアル	ブラジル	国債証券	%	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円		B B B +	B a a 2
	BRAZIL GOVT								
小計					38,155				
トルコリラ	トルコ	国債証券	%	千トルコリラ	千トルコリラ	千円		B B B	B a a 3
	TURKEY GOVT								
小計					14,216				
ポーランドズロチ	ポーランド	国債証券	%	千ポーランドズロチ	千ポーランドズロチ	千円		A	A2
	POLAND GOVT								
小計					27,449				
オーストラリアドル	オーストラリア	国債証券	%	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円		A A A	A a a
	AUSTRALIAN GOVT								
小計					29,621				
ニュージーランドドル	ニュージーランド	国債証券	%	千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル	千円		A A +	A a a
	NEW ZEALAND GOVT								
小計					63,330				
マレーシアリンギット	マレーシア	国債証券	%	千マレーシアリンギット	千マレーシアリンギット	千円		A	A3
	MALAYSIAN GOVT								
小計					12,659				
南アフリカランド	南アフリカ	国債証券	%	千南アフリカランド	千南アフリカランド	千円		B B B +	B a a 1
	REP SOUTH AFRICA								
小計					38,419				
合計					248,043				

(注) 1.邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

2.額面金額・評価額の単位未満は切り捨てです。

3.格付は当該日の現地前営業日を基準に掲載しています。

## ◎投資信託財産の構成

当期末：平成26年6月20日現在

項目	前期末		当期末	
	評価額	比率	評価額	比率
	千円		千円	
		%		%
公 社 債	270,566	91.3	248,043	85.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	25,794	8.7	41,089	14.2
投 資 信 託 財 産 総 額	296,360	100.0	289,132	100.0

(注) 1.評価額の単位未満は切り捨てです。

2.当期末における外貨建純資産 (252,251千円) の投資信託財産総額 (289,132千円) に対する比率は87.2%です。

3.外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお当期末における邦貨換算レートは1メキシコペソ=7.82円、1ブラジルリアル=45.86円、1トルコリラ=47.55円、1ポーランドズロチ=33.45円、1オーストラリアドル=95.85円、1ニュージーランドドル=88.77円、1マレーシアリングギット=31.63円、1南アフリカランド=9.48円です。

## ◎資産、負債、元本および基準価額の状況

当期末：平成26年6月20日現在

項目	前期末	当期末
	金額 (円)	金額 (円)
(A) 資産	296,360,703	289,336,845
コール・ローン等	21,255,871	38,026,955
公社債(評価額)	270,566,670	248,043,864
未収入金	-	205,629
未収利息	4,125,846	2,619,822
前払費用	412,316	440,575
(B) 負債	-	19,953,581
未払金	-	19,953,581
(C) 純資産総額(A-B)	296,360,703	269,383,264
元本	321,638,925	264,285,997
次期繰越損益金	△ 25,278,222	5,097,267
(D) 受益権総口数	321,638,925口	264,285,997口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,214円	10,193円

(注) 1.当ファンドは監査対象ではありません。

2.計算期間末における1口当たり純資産額は1.0193円です。

3.当ファンドの期首元本額は321,638,925円、期中追加設定元本額は12,465,246円、期中一部解約元本額は69,818,174円です。

4.当ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、プレミアム・カレンシー・オープン (毎月決算型) (愛称 金利の羅針盤) 262,980,155円、プレミアム・カレンシー・オープン (1年決算型) 1,305,842円です。

## ◎損益の状況

当期：自 平成25年6月21日 至 平成26年6月20日

項目	前期	当期
	金額 (円)	金額 (円)
(A) 配当等収益	24,574,054	19,504,879
受取利息	24,574,054	19,504,879
(B) 有価証券売買損益	34,165,362	10,671,835
売買益	50,720,358	21,152,610
売買損	△16,554,996	△10,480,775
(C) 信託報酬等	△ 534,875	△ 618,789
(D) 当期損益金(A+B+C)	58,204,541	29,557,925
(E) 前期繰越損益金	△96,420,435	△25,278,222
(F) 追加信託差損益金	△ 916,394	△ 465,246
(G) 解約差損益金	13,854,066	1,282,810
(H) 計(D+E+F+G)	△25,278,222	5,097,267
次期繰越損益金(H)	△25,278,222	5,097,267

(注) 損益の状況の中で、(B)有価証券売買損益は期末の評価替えによるものを含みます。(C)信託報酬等の金額は保管費用等です。なお、当ファンドには信託報酬はありません。(F)追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## &lt;訂正のお知らせ&gt;

当ファンドの過去の運用報告書において、マレーシア国の英語スペルに誤植がございました。謹んで訂正申し上げます。

正：MALAYSIAN GOVT  
誤：MARAYSIAN GOVT